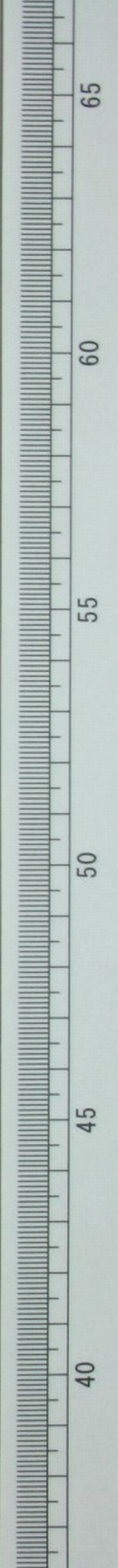




寛永刊  
塵劫記  
下

小倉文庫  
イ 16  
13



門 116  
號 13  
卷



塵劫記卷之三目録

十七 檢地の事

十八 知り地敷の事

十九 金取に當りりくひ付地よを寸積の

二十 材木の事

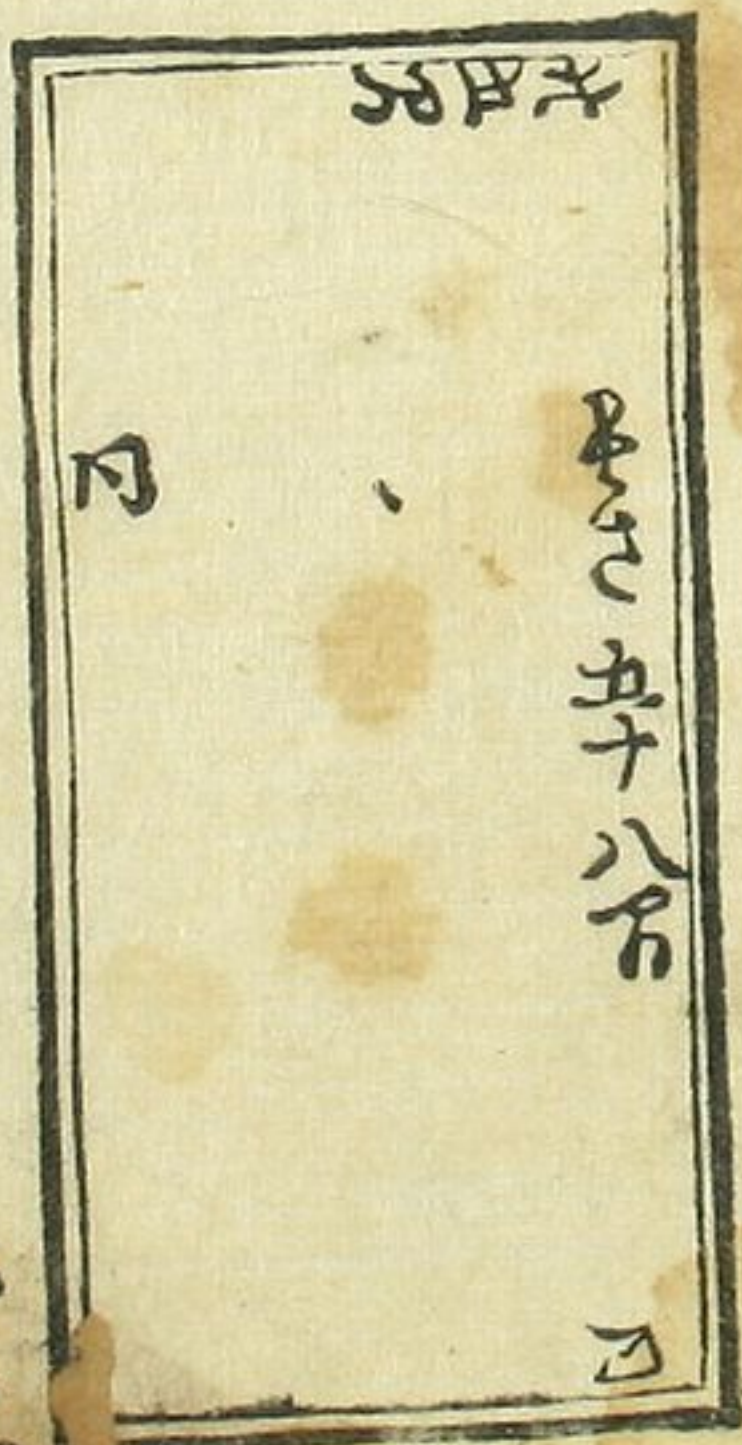


昭和二十七年  
六月二十一日  
受入

水十七

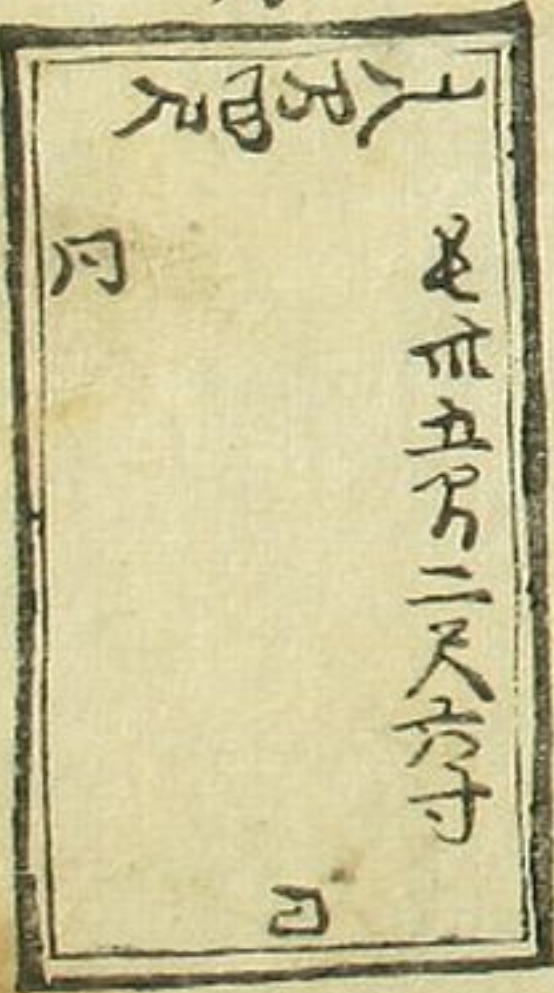
檢地のし

○四五八畝十歩



はよも横の勢左右よ五からい子四百五拾坪よ  
なる是と田の法三にて刻時四及八畝十歩と刻

○二五一畝廿八歩九分



はよも世五万二尺六寸と右よと一けんよわ

うへろ 六尺五寸をうへろに廿三丈一尺五寸より  
又右より十八間四尺と重し一けんより  
六五をうへれと十二丈一尺とろりこれと右に  
廿三丈一尺よりうへれ一丈の坪数百七十八坪  
四合二りきも申すなりぬ 二山と一坪の法  
四二二五にしてはれ六間八坪よりなりと  
申す也 くれと田の法三よしてはれ二尺二寸  
廿八歩九分ハリ申すなりなり

一回右より〜田と五間二尺六寸を計尺より  
左の二尺六寸を六五めてはれは世五間四と

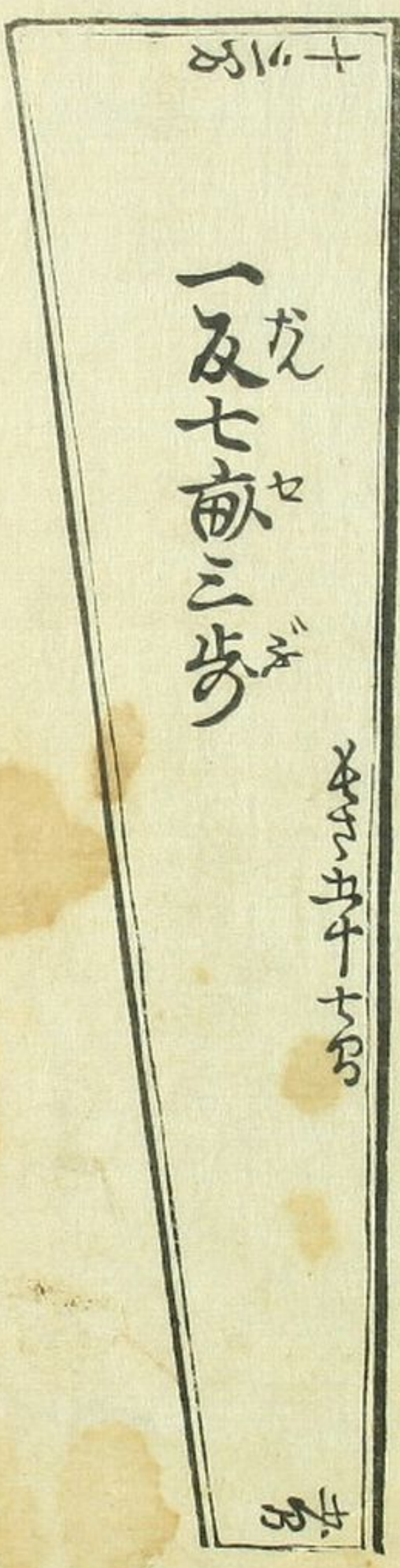
る所又横十八間四尺を四尺りりりを六五よて  
はれは十八間六尺一又一寸あまりあるをハ  
寸してはれは六間五尺とたなりなり

○右の十八坪を四間とたなりなり

はれは右よりちういさたうくの〜はれは  
はれはと申すなりぬ申すなりぬ一けんより  
尺寸を六五めてわりてちういさたうくの〜はれは  
はれは〜又はれはハたすともく〜入て重し  
はれははれははれははれははれははれははれは  
はれは

一畝廿八歩合あり もき七十方

法り一と七十方より中尺をかくれを三八と成  
 二心より五にして五心より八坪中より六りと成  
 是を田此法にして刻を一畝廿八歩四分六りと  
 なるなり

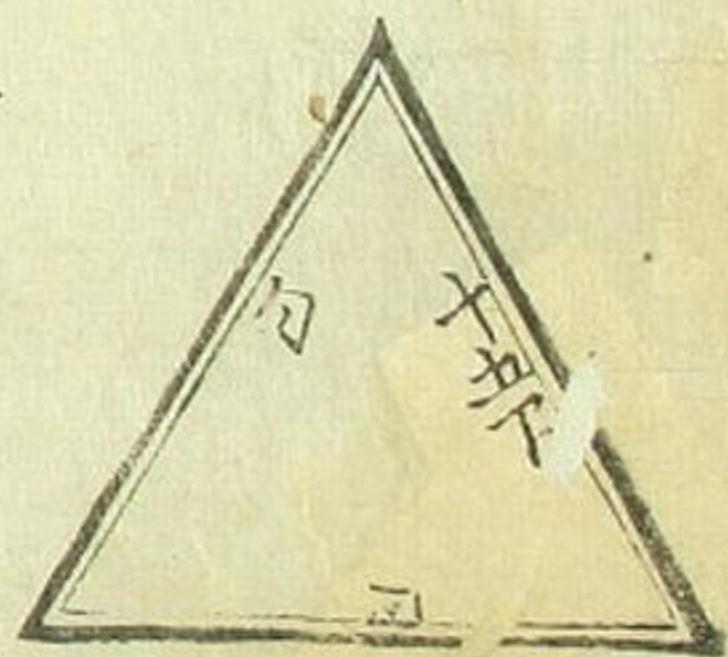


法り一と三十方より又五方とくまの心より  
 十八方より成二心と二つよりわふ時九方より成是を  
 是を廿七方より成二心八五十三坪とあり二心と  
 田の法三にして日る時一及七畝三歩なるなり



法り十二方と二つよりわり六方よりなりこれを  
 なるき四拾五より成れを或百四拾坪なりなる  
 是を田此法三してあり時八畝なるなり

〇二畝七歩四分



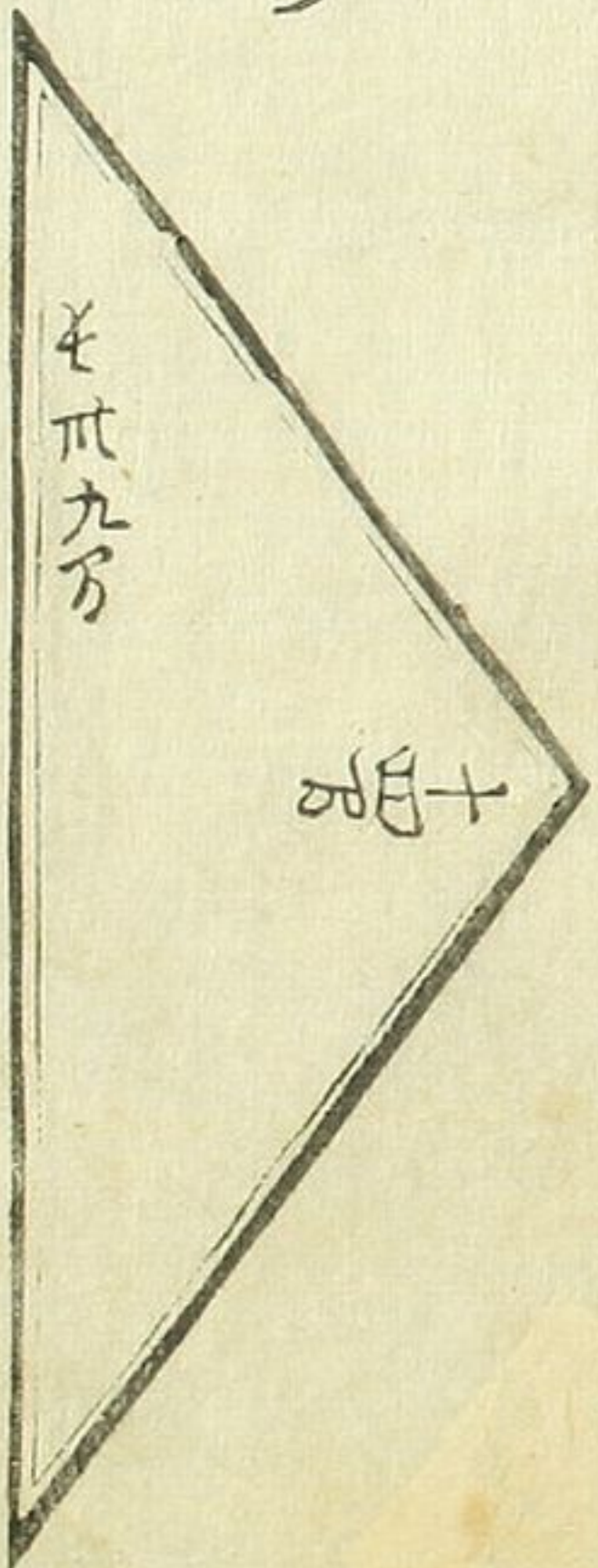
法よ十五<sup>咫</sup>左右よ垂くこれと或る七五坪よ或  
これよ又三<sup>箇</sup>の法四三三をかく<sup>所</sup>と<sup>ま</sup>さ<sup>ま</sup>の  
九拾七坪<sup>分</sup>分ニリ也也よ或是を田の法三<sup>ゆ</sup>て  
刻時よ三<sup>畝</sup>七歩四分ニリ也也と<sup>ま</sup>る<sup>へ</sup>ー

〇八畝十二歩



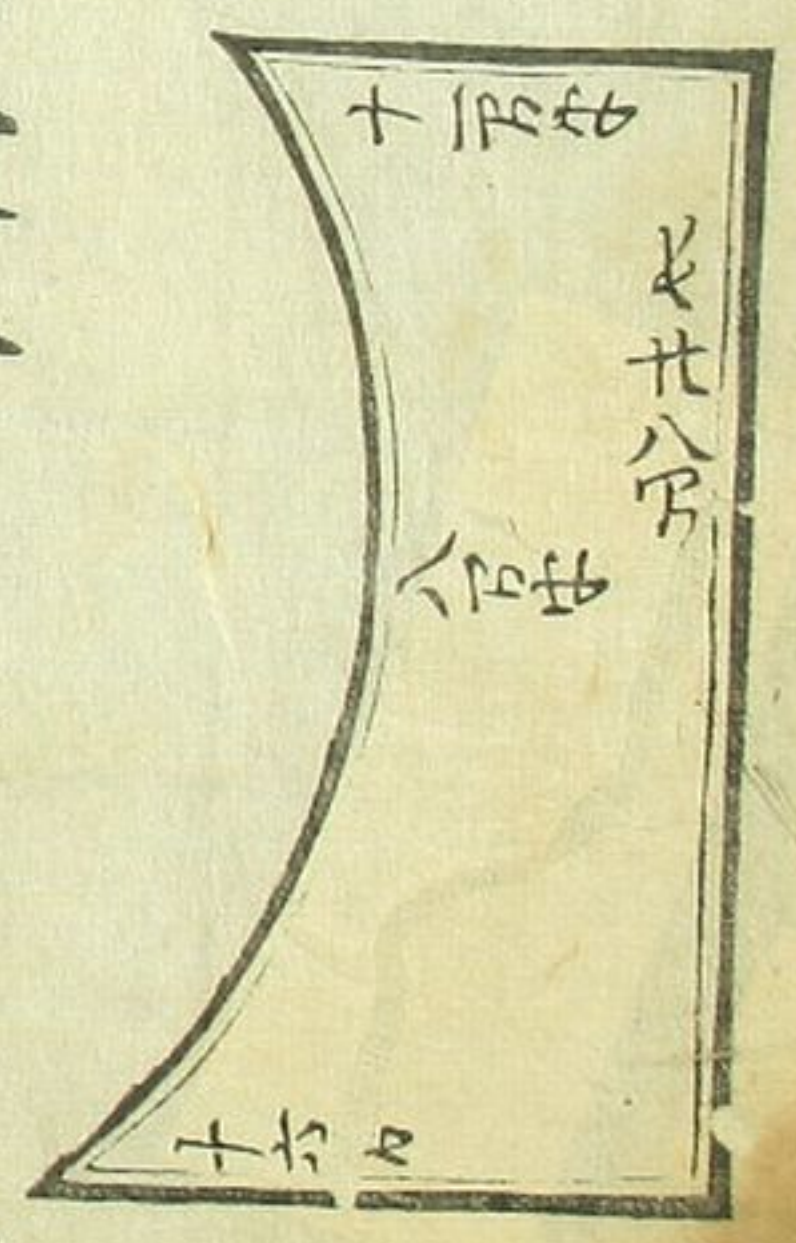
法よ横十八<sup>方</sup>と二<sup>ツ</sup>よ<sup>し</sup>の<sup>五</sup>方<sup>一</sup>り<sup>る</sup>所  
こ<sup>の</sup>山<sup>を</sup>と<sup>ま</sup>さ<sup>廿</sup>八<sup>咫</sup>よ<sup>く</sup>く<sup>の</sup>或<sup>百</sup>五<sup>十二</sup>坪<sup>よ</sup>或  
是<sup>と</sup>田<sup>の</sup>法<sup>三</sup>よ<sup>て</sup>わ<sup>ら</sup>え<sup>八</sup>畝<sup>十二</sup>歩<sup>と</sup>ま<sup>る</sup>所

〇九畝三歩



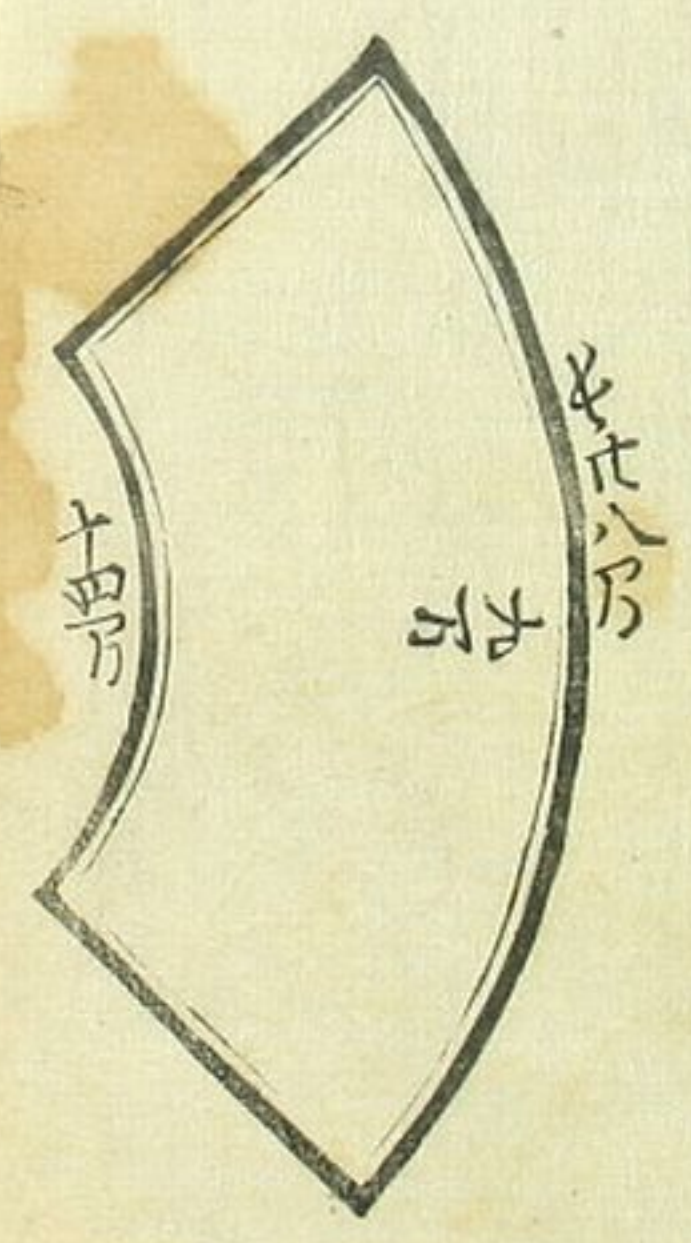
法よ横十四<sup>方</sup>と二<sup>ツ</sup>よ<sup>し</sup>の<sup>七</sup>け<sup>ん</sup>よ<sup>な</sup>り<sup>る</sup>所  
これと<sup>七</sup>廿<sup>九</sup>下<sup>り</sup>か<sup>く</sup>の<sup>或</sup>百<sup>七</sup>拾<sup>三</sup>坪<sup>中</sup>  
<sup>の</sup>法<sup>三</sup>よ<sup>て</sup>わ<sup>ら</sup>え<sup>九</sup>畝<sup>三</sup>歩<sup>と</sup>ま<sup>る</sup>所

○一及一畝方歩



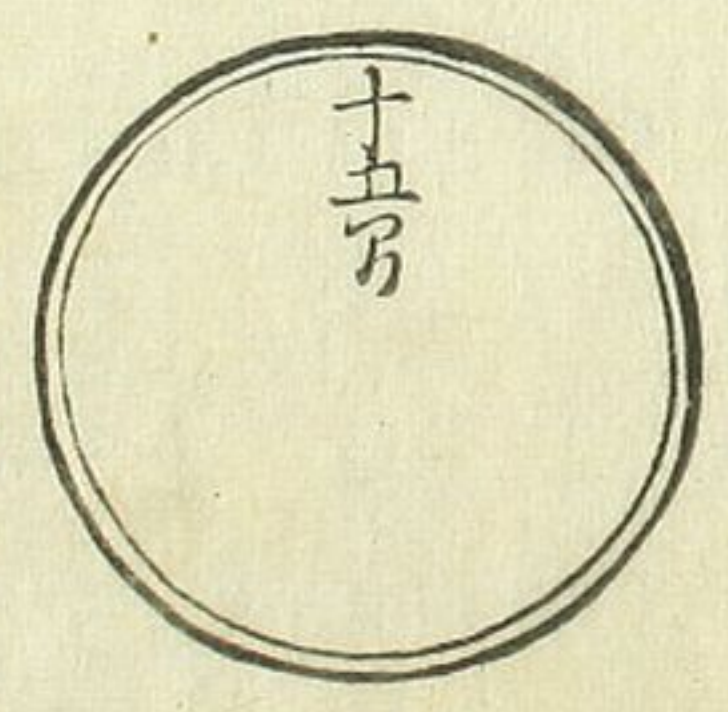
法より一と十六けしの中廿八方歩とらふて  
 又十一方歩とらふ時合廿六方歩なる是を  
 三つよりけし十二方と成是より廿八けし  
 三百廿六坪と成田法三て刻一畝一歩と成

○六畝方歩



法より廿八方より十四けしは四分時四拾二方より  
 是二つよりけし廿一方より成是より九方とらふ  
 百八十九坪なる田法三てより付り

○五畝方七歩方



法より十五方と九方より垂くられは或百廿五坪より  
 なるなりこれよりき法七九をから付り  
 百七十七坪七分より成これと田の法三にて  
 五畝方七歩方と成

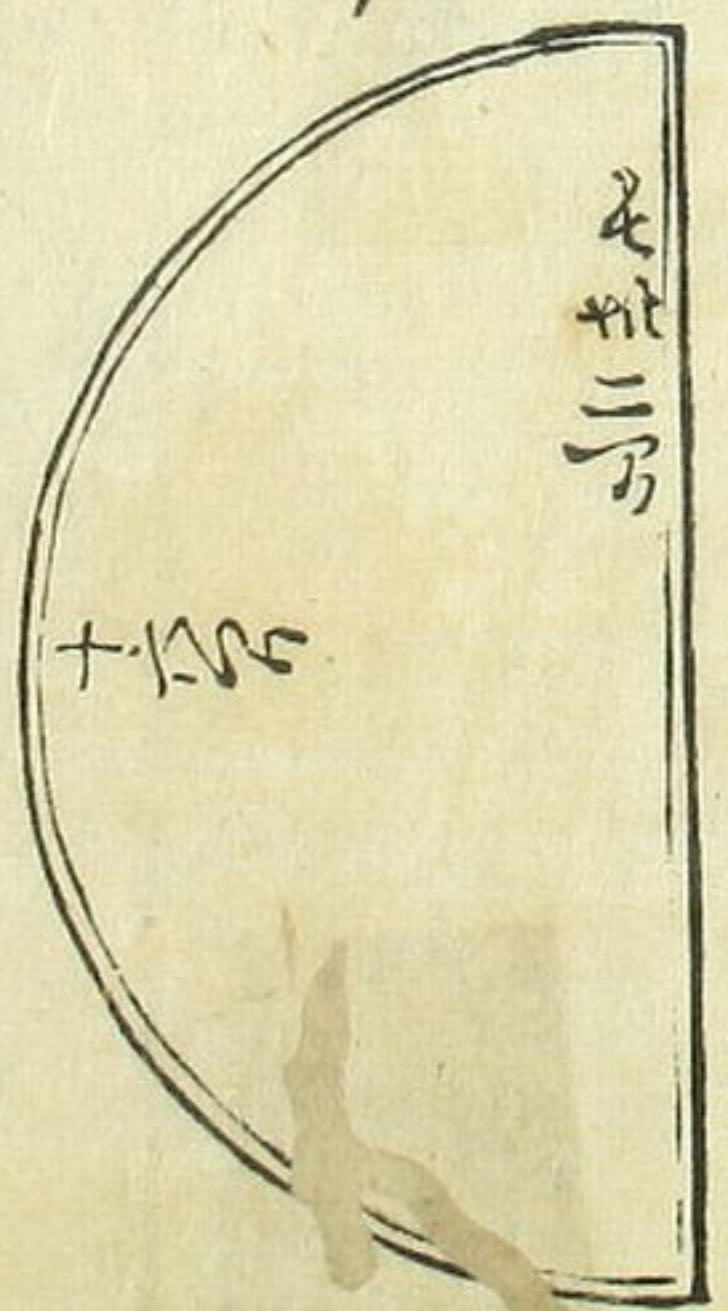
○五畝廿七歩七分五厘



法一、圓まわし一わし一うしぬ時よまわりを  
うしぬきり一四拾七畝二尺六寸あり二尺六寸  
りりりと六五よそわしえ四十七畝四歩とあり  
二畝を圓まわしめくり此法三一六よそわしぬ時一  
まわしえ一わし一十五けんやとあり一  
け十五畝を左右よそまわしぬ時廿五坪よそ  
まわし法七九をうしぬ百七十七坪七歩五厘と

る分なり是を田の法三にそわしぬとまわし  
五畝廿七歩七分五厘とあり一

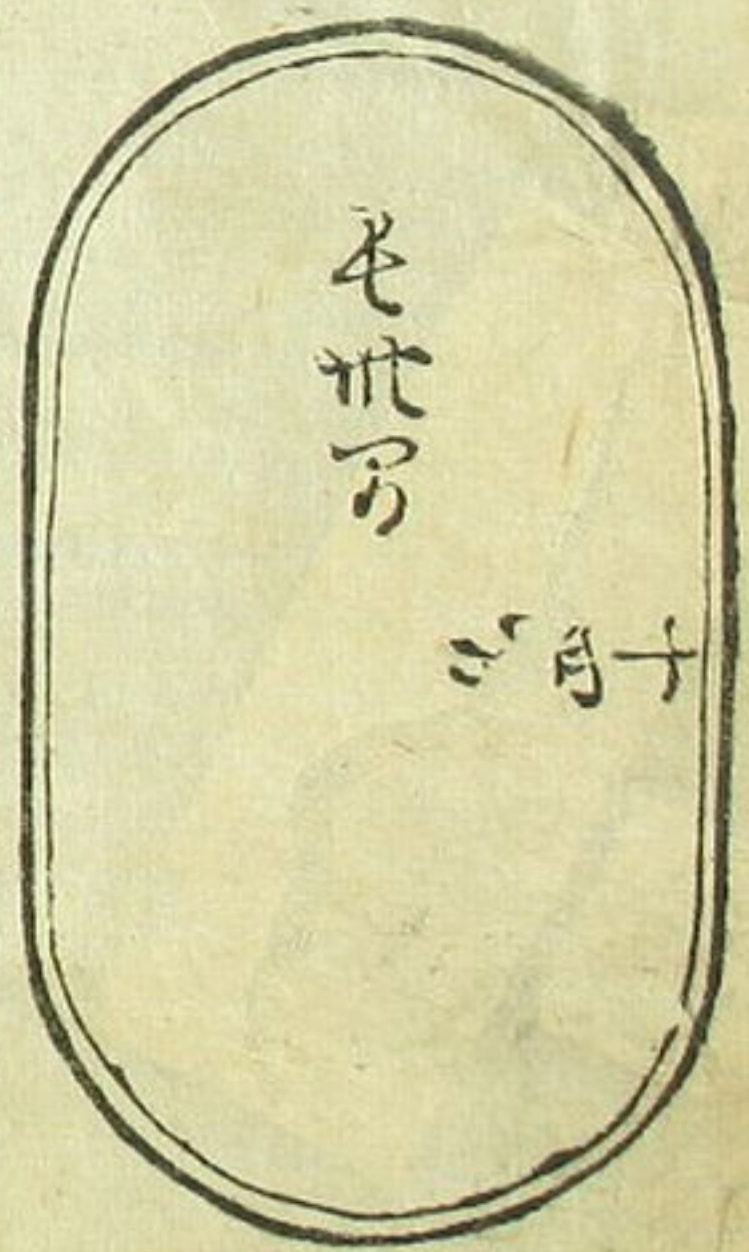
○一畝三畝十四歩四分



法一、かりき世二町一横十六方をうくれを  
五百十二坪ありなりなりこれ一又きりき法  
七九をかくれえ四百四坪四分ありよなり是を  
田の法三よそわしぬきり一畝三畝十四歩  
四分ありとあり一



○一及二畝十八歩分四り



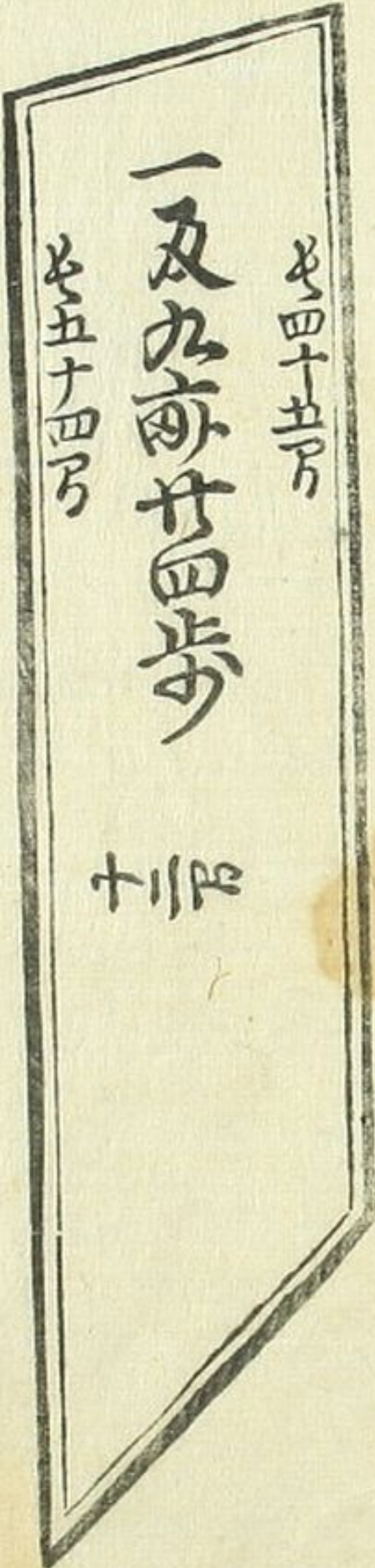
法よ七世のうちにとよこ十四りし時よはて  
 十六りき是よ十でりとくは二百廿四坪よは  
 これと右よへちよ悉又右よ十四り左右よをき  
 くら其一九六よたたら是よ四き法七九くらは  
 百ぬ十に坪分四りと成これと右よよくら  
 時よ三百七十八坪分四りよ成これを田の法  
 三てよれら一及二畝十八歩八分四りとよ

七四十五

○一及九畝廿四歩

七五十四

十一



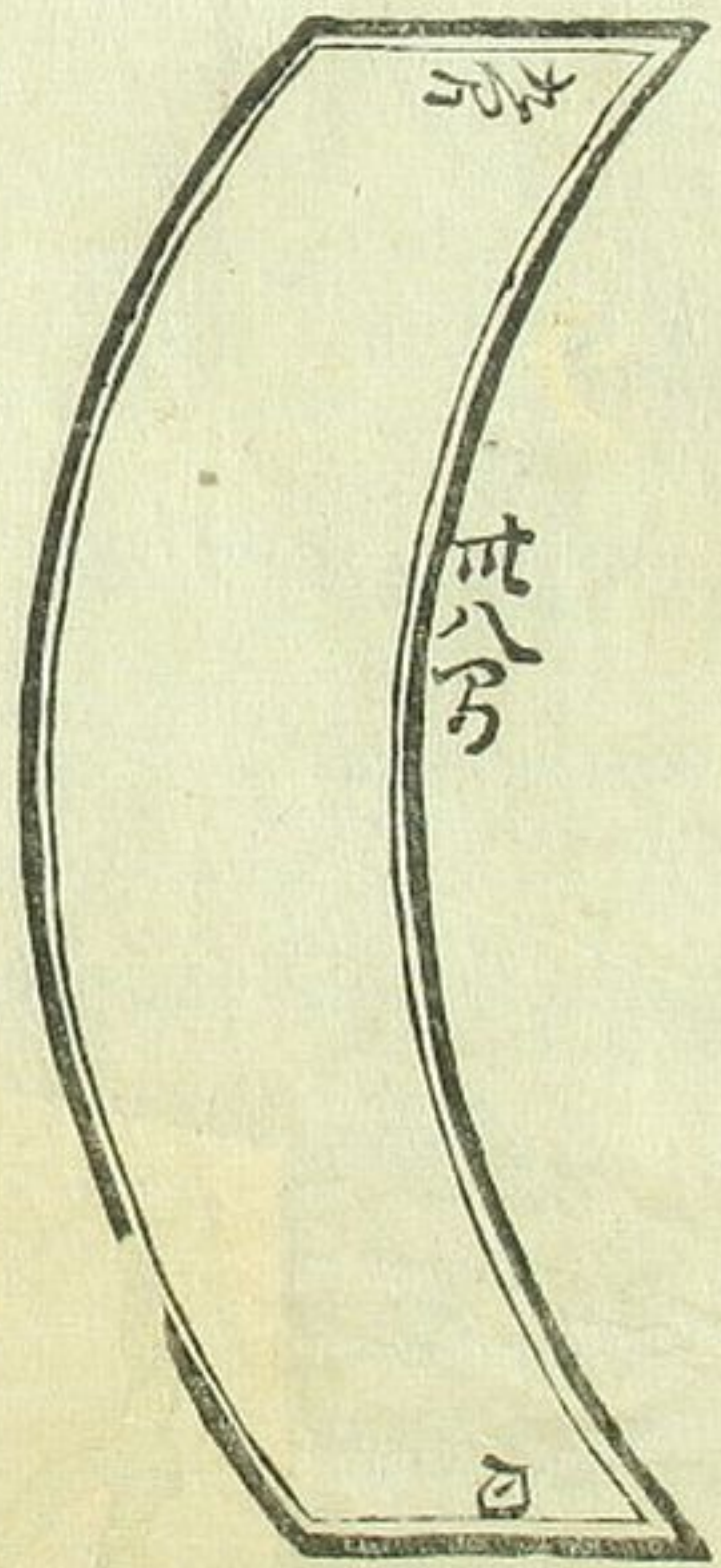
法よとよきわ格四万よ四格五万をくら分時り  
 九格カ万よろり二四ふよは四十九りよは  
 これ一横十二りとくは五百九十四坪よ成  
 これと田の法よとわら

○一及二畝四歩



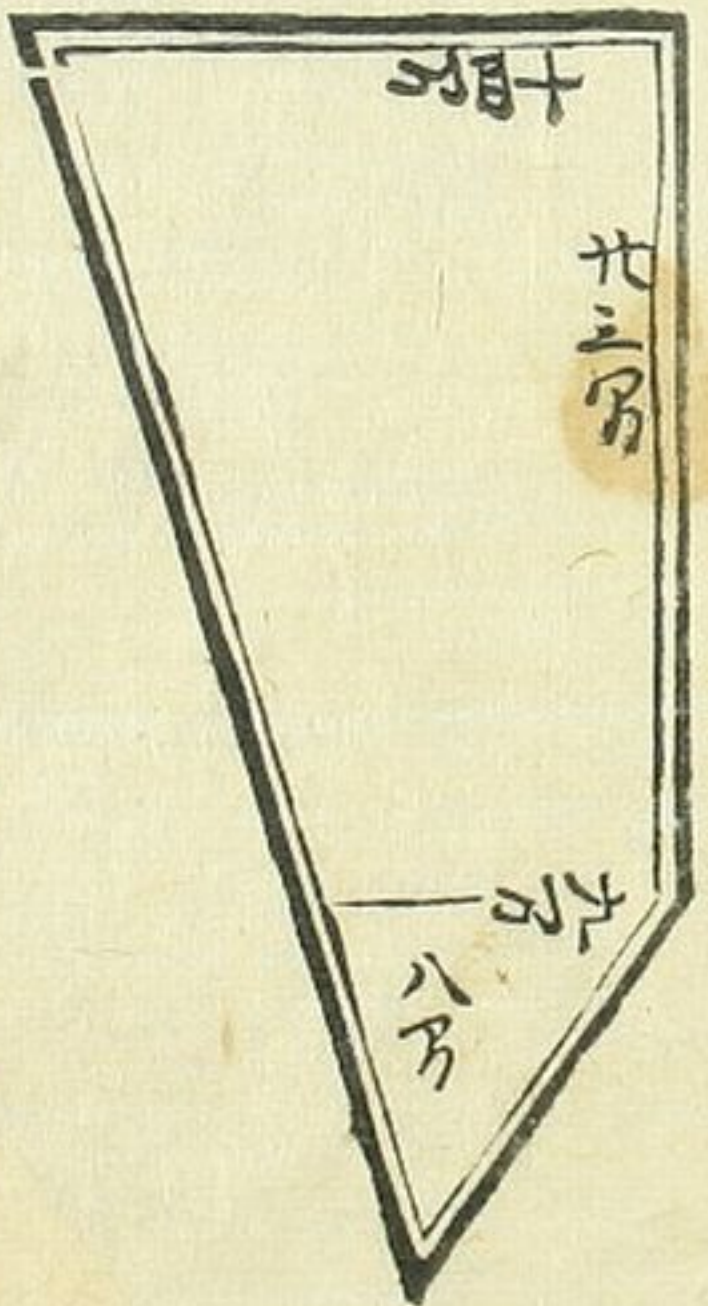
法一と廿六方と二つは廿七の十三方  
 方をは廿八方と一たれを三百六十四坪と  
 するなり 一たれを田は三たれを廿八と廿九と  
 一及二畝の歩とあるなり

○一及一畝十二歩



法一と廿八方と廿八けいよめけいをかき  
 三百六十二坪也 是れ方なり 一たれを田は法三て  
 ありとあるなり

○一と五方



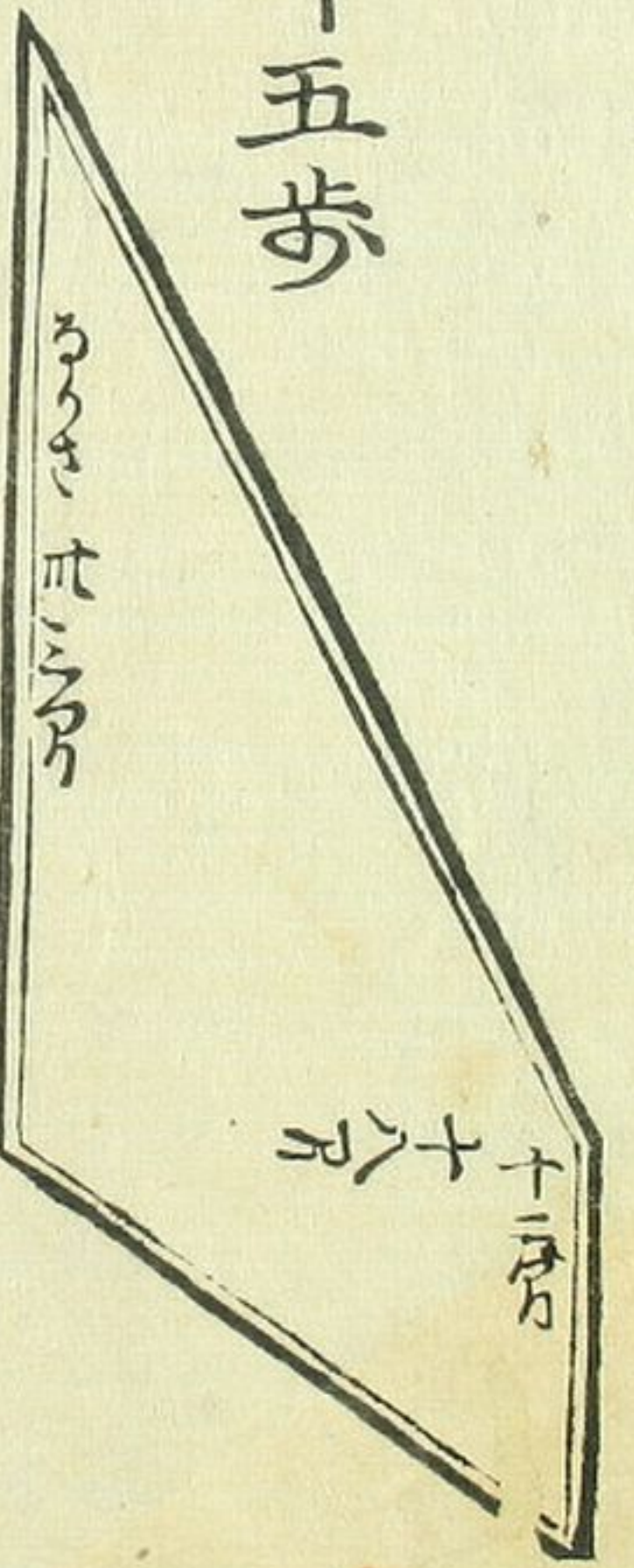
法一十四けいよ九方と五方なり 一たれは廿三方と一  
 一たれと二つよ一たれ六十一方なり 一たれは  
 とき或は三三方と一たれ或は六十四坪なり 一た  
 れは是と一たれ一と一たれ〇又八方と二つよ一た  
 四なり 一たれは又九方と一たれは廿六坪と一  
 一たれは或は六十四坪なり 一たれは或は六十四坪なり  
 一たれの法三は一たれ一及五方と一たれ

○一及十二歩



法よ十六歩ニツよわるとまき八歩よぬこれよ  
 七歩九歩よとこれ三百十二坪よぬ田法三よと  
 われえ一とん十二歩ゆとまぬ

○一及三畝十五歩



法よ九とまき三歩より又十二歩とくると時一

四十五より一畝ニツよわると時廿二畝とんは  
 此れは横十八歩とくると四百五坪よぬ田の法  
 三よとわれえ一及三畝十五歩とまぬ

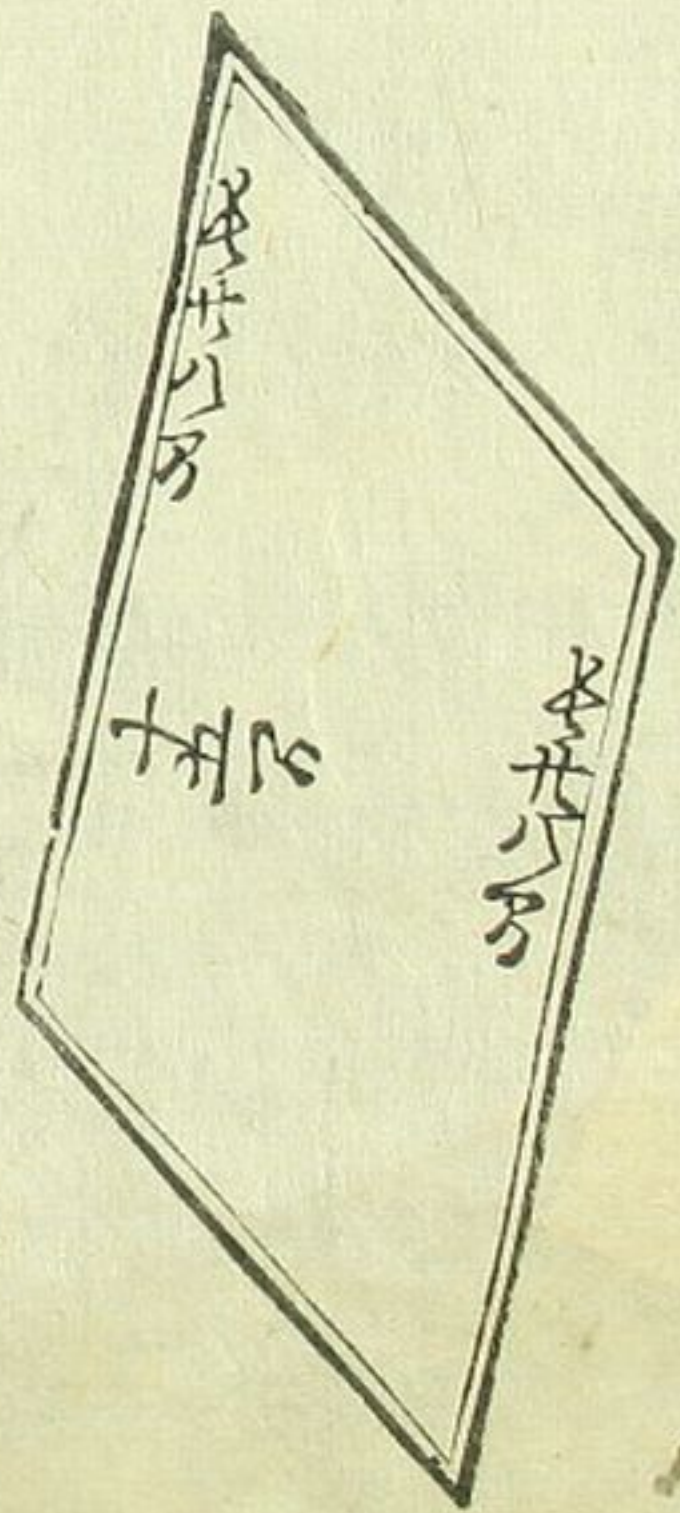
○一及三畝十九歩半



法よ七歩九歩よ十八歩をかくれ七百二坪小版  
 此れをたよへちよ五〇又六歩けけと九歩の  
 くりよとくると時十五歩よぬ是を二ツよと  
 七歩半よ是よ七歩九歩とくると九十二坪よ

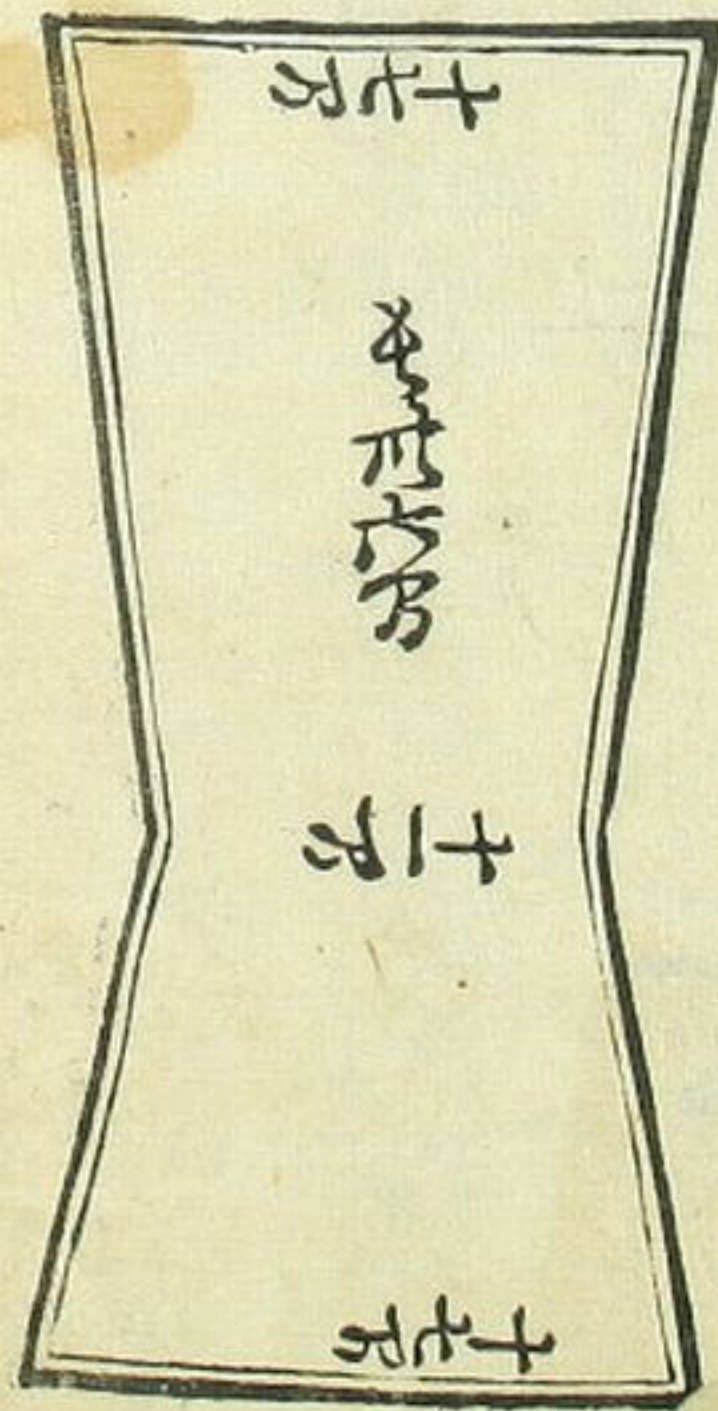
なる是程右の内を引一付於て四百九坪あり  
田の法三にしてはれ右をこくまはらるり

○一畝四前



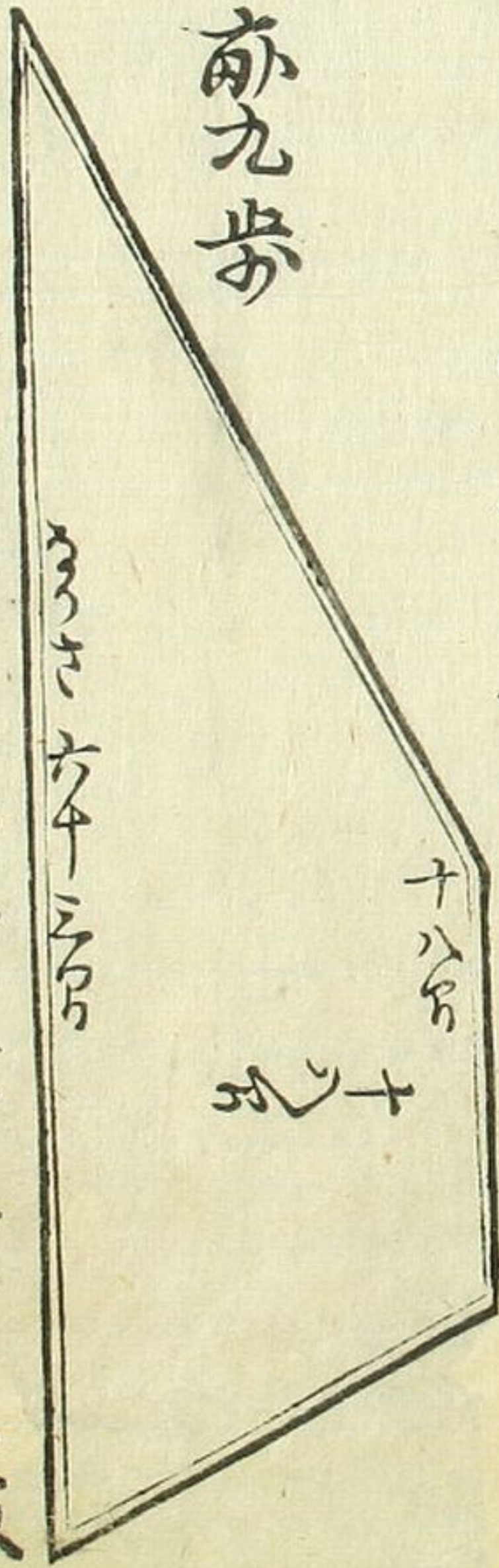
法よ廿八歩より十五歩をこくはれはるり廿坪あり  
田の法三にしてはれ右一及四畝とあるは

○一畝六畝廿四歩



法よ十七歩より十一歩をこくはれはるり  
廿六歩とあるはれを四つは刻を拾四歩あり  
これよ是き廿六歩をこくはれはるり五百四坪あり  
田の法三にしてはれ右一及六畝廿四歩とあるは

○二及四畝九歩



法よ六十三歩より十八歩をこくはれはるり八十一坪あり  
二つはより時々十歩をこくはれはるり是より十八歩  
をこくはれはるり廿九坪あり三つは刻二畝四畝九歩あり

○一及三畝廿四歩



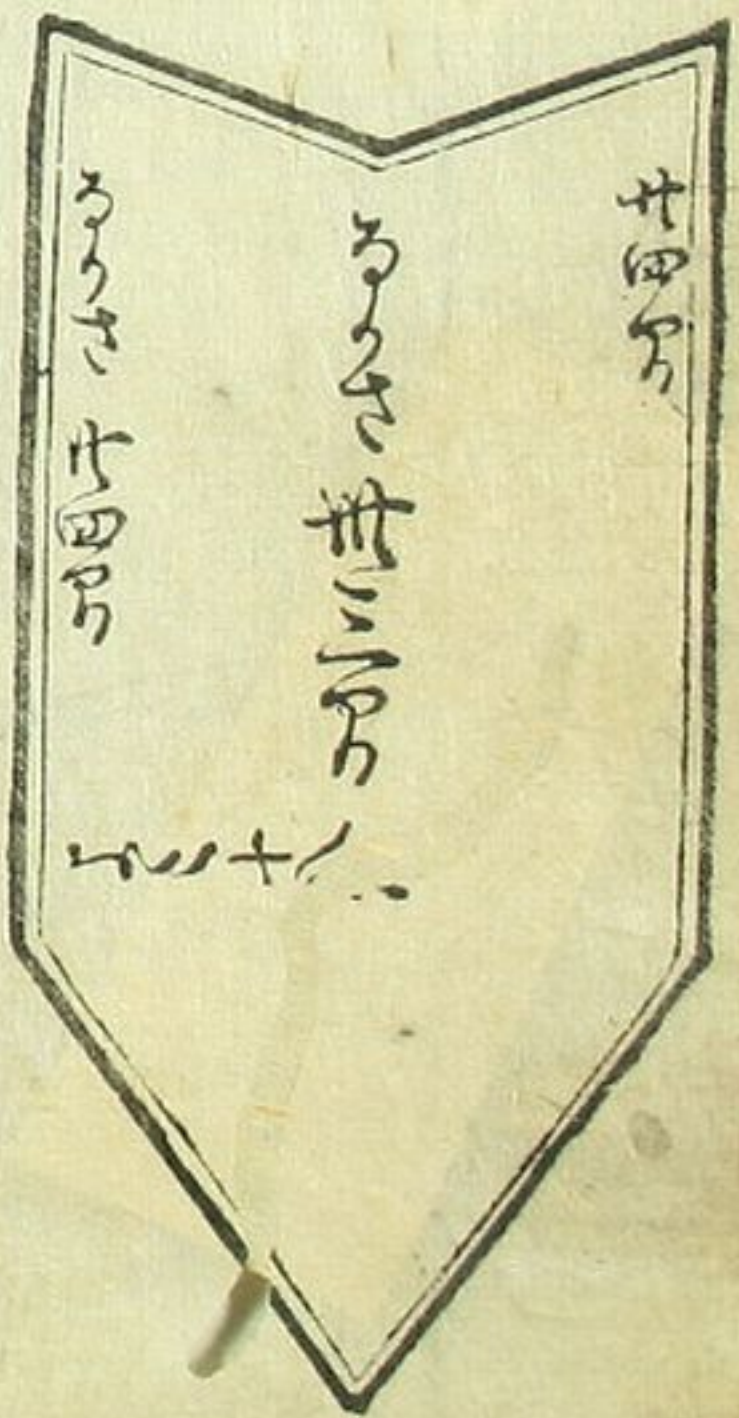
法よ十二方より十八方加へり時廿方より二つよ  
わあ時十五方よりなるこれよ廿五方よ  
〜これよ或百廿五坪より入ちり〜を〇又  
撲十八方より三方を〜よ廿一方よ  
二つよわいえ十方よ成りしよを廿十八畝よ  
わ〜れを百八十九坪よなる或百廿五坪よ  
る〜入ちり十坪よ成りしよの法にて刻を

○四畝二十四歩



法よ二方を二つより一なりなるを〜  
か〜き廿四坪を〜れを廿四坪より成り  
又二方より十八方を〜よ廿方より成  
二つわりて十けんり〜これを十二方よ  
から時よ百廿坪よる〜れを廿四坪よ  
〜よ分なり〜百四拾四坪よ成りしよの法にて  
〜れよ四畝或拾四歩と

〇一及七畝二歩



法一は世三町よ廿四町から入てめ餘七町よ餘  
 これを二つよこれ廿八町より一町よりこれよ  
 一十八町からこれを五百十三坪よる家これよ  
 田の法三てわら時一及七畝三歩とさるを一  
 右檢地の積うは所とありやうん用かなの  
 皆必お同かしてと世初か人よと一への  
 ぬめと一七方と一めけと

十八

知り物ぬる事

一二及七畝の時 斗代一及二符をぬめひ代よん  
 右言と介ふわとらと定う時

〇言定ぬる事とつあ

法一は二及七畝と右よ重なる斗をうこれと  
 言定ぬる事とさるへし

一九及三畝廿一歩を 一及二符なる斗代よして  
 右言定ぬる事と定う時

〇言定ぬる事とつあ

はよ右一九とん三畝廿一歩と定ぬる事と下の

七一歩と三にして日り時よ九大人三或七とたり  
ふれよ一石五斗とくく其言とたるへし

一言三万五千或百石を 右に物ぬ六ツ五分ぬと  
いふ時右く言よ物ぬ合て何れくう中とさぬ

○物ぬ二万二千の百り拾石といふ

はよ三万五千或百石を右くをき六ツ五分と  
かこれ右のものの成とたる

一燃一換と云を言一石の内き廿百換れぬと

一言三万五千或百石あり け物ぬ二万五千八百  
八拾石とこれつくつぬを同時

○六ツ五分よなりといふ

法よ物ぬを右よ番きはて日ぬ六ツ五分とぬ

一回言三万五千或百石物ぬ二万二千八百八拾石

あり時ろんろんよあつろをささう時

○三換五分といふ

はよ言の内をものぬれりもあて一万二千

三百或拾石とこれとて日ぬ云々ん五分と

一物ぬ六ツ五分うして物ぬ二万二千八百八拾石

き時右を言まぬといふ付り

○言三万五千或百石といふ

はよりの成二千二百八十石と六分五厘  
よりの成とちるへし

一 抽除二万二千二百八十石を さる 口米二千  
五斗六升の町石を抽除の口米とせしむ

○ 口米二万二千二百八十石を  
はより抽除をよきをて口米とせしむ  
口米とちるへし

一 抽二万二千二百八十石を町口米とせしむ  
一 口米二万二千二百八十石を

○ 二万四千七百拾石四斗とせしむ

はよりの成二万二千二百八十石を  
よりの成とせしむ  
二万四千七百拾石四斗とせしむ

一 口米二万四千七百拾石四斗を  
口米とせしむ

○ 口米二万四千七百拾石とせしむ

はよりの成二万四千七百拾石四斗を  
口米とせしむ  
一 口米二万四千七百拾石四斗を  
口米とせしむ

○ 口米二万四千七百拾石とせしむ



一石より右より二万四千七百拾石四斗ありて  
 一石より右より二万四千七百拾石四斗ありて  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを

一石より右より二万四千七百拾石四斗ありて  
 一石より右より二万四千七百拾石四斗ありて  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを

○石より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを

一石より右より二万四千七百拾石四斗ありて  
 一石より右より二万四千七百拾石四斗ありて  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを

○石より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを

一石より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを

一石より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを

一石より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを  
 一三斗より右より一石と垂てこれを八斗にしてこれを

一 米よめてしめぬの中米とちるを

一 米四百石格七石五分の時付中米とちるを  
りていふなり

○ 中米二万二千石の格とりの

法よりいふなり七石五分を二米よりしてしめぬ  
中米としきふなり

一 米中米より一千八百石四斗の時よ中米の  
格ありてなり

○ 中米二万二千八百石の格とりの

法よ千八百石四斗を中米としてしめぬなり

一 米中米より一千石の格なり時よ中米と  
ちるなり

○ 中米千二百七拾二石の格とりの

法よ中米とちるをききてこれを中米にしてしめぬ  
七石五分なりこれよりして右の千石の格なりと  
わねぬ中米千二百七拾二石八斗とちるなり

一 年分の石五分七斗の時右よりなり右の  
中米二千石の格にて納米ちふなり

○ 納八石五斗のりの

法よ八石五分を二石五分にてしめぬなり

カ十九

金銀をくのりうい付積のし

一四寸為千五百枚を三寸ふまうらうてうふりく  
とくかきん

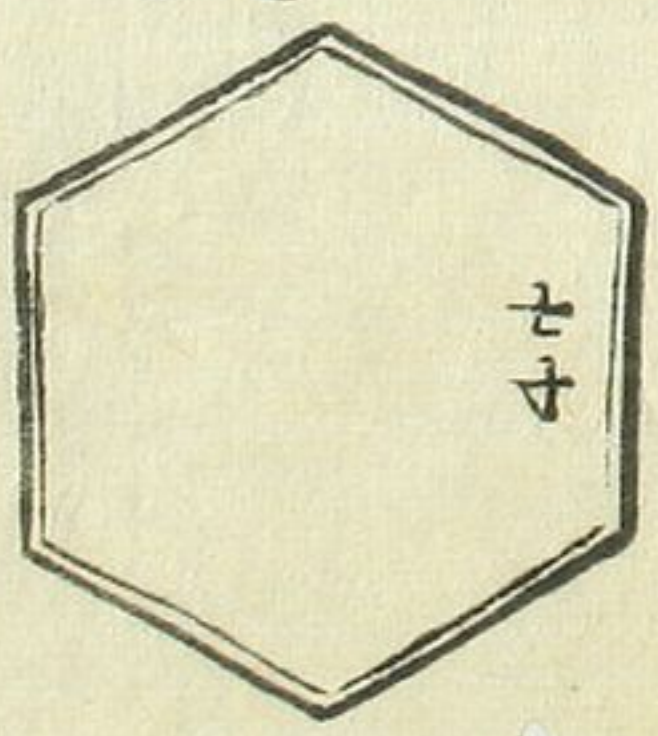
〇三寸為二千六百六十六枚六分六リといふ  
はよ四寸を左右よをまうらうれ六十六坪うらるふ  
あれよ三寸為千五百まいめくれハ二万四千坪よ  
るりかきこれと右うらちよ五〇又ひくうりよ  
三寸を左右よをまうてうくれも九坪よ成是にて  
右よ二万四千坪を刻も二千六百六十六枚六分  
六リめしとあう

一二枚ひょうのさかちをさかちへ三尺ありあまた  
 よこたをさかちへ四寸此金幣うぶれへ入とぬ  
 ○百八拾七まいおひとらふ

法よ五尺よ六尺とくこれハ三寸の坪三子坪よぬ  
 これを四寸坪の坪九寸十六めてわあしとあはよ  
 百八十七枚字とまぬじとそへめんを一わめも  
 ニわめも入るちしこれも坪よよの坪一たうへ  
 めけゆしまらぬし

一六角うら物此角のをもて七寸のありしとまぬし  
 あはよ三寸金幣とく時ありんぬわへ入るゆ  
 とうとまぬし

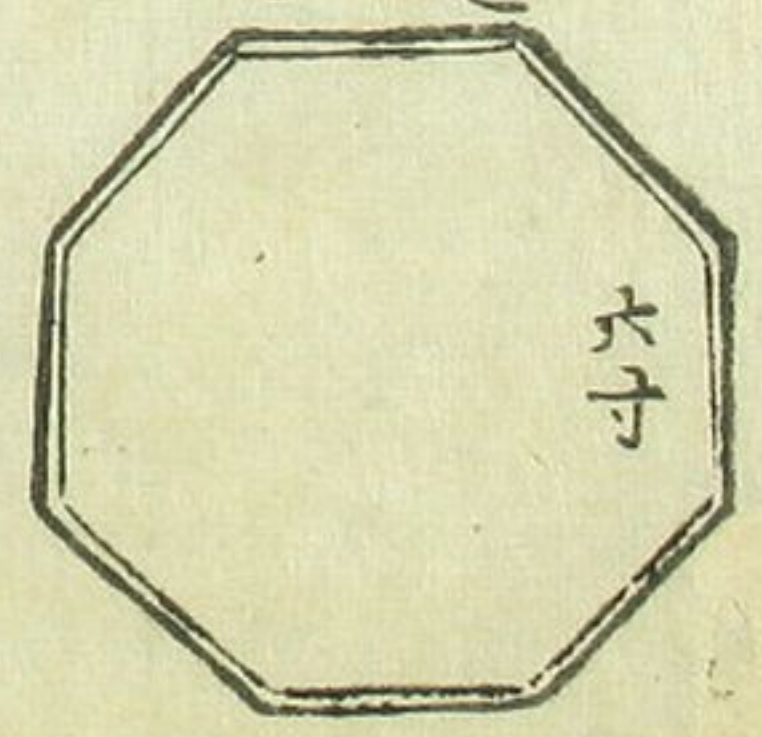
- 二寸坪百廿七坪五分あり
- 三寸坪十四枚一分四り入



けよ七寸と右右よをさかちへ四九とぬこれよ  
 六角の法二五九八く小の百廿七坪二分二毫あり  
 二寸と三寸坪此法九坪はてまぬし三寸の坪は  
 十寸一枚一分四りとまらぬし

一八角のりをもて六寸のつゝを母もふ三寸此金銀  
ろのりへ八寸と同寸

○一寸坪百七拾三坪の分より  
○三寸もく十九坪之分一り入



は六寸と左右よをきあつた三六と成り  
二もくは七二と成是を八角の法四一四二で  
まわら百七十三坪八分三厘とさるゝ又これと  
九にしてより寸十九枚に分一りとさるゝ  
右さん用とさけよとせうんと見合へし

**牙井**

材木のし

一三寸角此二尺本四百廿五寸 此れは四寸角の

二万本をめんてより四寸角より程より同寸

○四寸角或百廿五本とさ

法は三寸と右右よ垂うこれと九坪と成これと  
四百廿五寸の三六と成り右よ別り垂たか  
又いりより四寸と二両よ垂かこれと十六と成  
是にて右よ三六とわら四寸角或百廿五本と  
さるゝ

一八寸角の二万本七廿五寸より四寸角の二万本と

少くし時右に八寸角の三万本七本は五寸角と  
たふすれども向にせしむ

○五寸角二万本 亦拾六本と

○五寸は四寸四分の角 一本といふ

は八寸を左右に垂るれば六四のたふすは  
三万をからず時一九二とあり又七本をかけた  
一三四四とぬ右にへちよ垂る○又右に五寸を  
左右に垂るれば二五とぬ右に二万を垂る  
五よる家は右に右に一三四四と五はして二万の  
或拾六本といふまをわけても一めて四四と

五寸は四寸四分の角といふ

一又五寸は四寸四分角と四角より一をらんす  
角と向とす

○四寸六分九厘四方此角といふ

は四寸四分は五寸をくれば廿二とぬれば  
開平法にてまれば四方とありあり

一回五寸は四寸四分角の二万本を五寸角として  
ありきえりふれりふれりむとあり時

○と一尺四尺九寸四分といふ

は四寸四分は五寸をくれば二二とぬれば

かゝるに二寸と一丈三尺とありてこれを右の  
二二八と八八二と八六と八別よ垂又ひしりよ  
五寸と左右よをきくれば二五と八六と右と  
二八六と右の一丈一尺四寸四つとならざるを  
一万の法六尺五寸めてけしめてしりわされば  
右とくくしれし

一五寸角に二寸本と首の輪中あり時よ五寸角の  
二寸本と替ひしりよ一五寸角をまじりしよ一と  
五寸角一牛時五寸角を一牛つくをいよもちて  
くつ時二首め牛牛のくくよ五寸角はつくと回

○五寸角

み輪二牛と

○五寸よ五寸二分三リめ色 一牛とつあ  
はよ五寸と左右よをきくれば九よ八六と  
二首の輪中よくれば三一五と八六と入ちよ垂  
ひしりよ五寸左右よをきくれば二五と八六と  
九とくくつ時三四と八六と右にそ右と三一五と  
類時九十二牛六四七と八六と六四七とつあし  
きれぬ時五寸と左右よ垂くれば廿五とつあ  
これと六四七とくくれば十六一七五とならざるを  
又五寸めとくくつ時二つと三リめときれし

一六寸角の二万本と一廿<sup>付</sup>尺角の五万本の時  
六寸角五尺の時右を祿<sup>し</sup>て一尺入をなふ<sup>れ</sup>  
と<sup>し</sup>同<sup>時</sup>なり

○六寸角の尺代き家七<sup>分</sup>なりぬと<sup>し</sup>ぬ  
法<sup>し</sup>六寸角二万本乃代<sup>き</sup>家五<sup>分</sup>なりぬと<sup>し</sup>ぬ  
と<sup>し</sup>ぬ六二七五と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ一丈三尺と<sup>し</sup>ぬ  
と<sup>し</sup>ぬ七<sup>分</sup>五<sup>分</sup>五<sup>分</sup>なりぬと<sup>し</sup>ぬ

一丸木<sup>なり</sup>なり<sup>し</sup>五寸と<sup>し</sup>ぬ一丈六尺二寸ぬと<sup>し</sup>ぬ  
二<sup>寸</sup>と<sup>し</sup>ぬ五寸角<sup>なり</sup>なり<sup>し</sup>と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ

○五寸角一丈三尺はぬと<sup>し</sup>ぬ

法<sup>し</sup>一丈六尺二寸五<sup>分</sup>は八と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ

一丈之尺と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ又七九と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ

一五寸角<sup>なり</sup>なり<sup>し</sup>一丈三尺五<sup>分</sup>尺木<sup>なり</sup>なり<sup>し</sup>

五寸<sup>なり</sup>なり<sup>し</sup>と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ

○一丈六尺二寸五<sup>分</sup>はぬと<sup>し</sup>ぬ

法<sup>し</sup>一丈三尺を八と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ

と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ○又七九と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ

一<sup>寸</sup>の<sup>角</sup>なり<sup>し</sup>なり<sup>し</sup>六寸<sup>なり</sup>なり<sup>し</sup>と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ  
と<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬと<sup>し</sup>ぬ

○五寸三分<sup>なり</sup>なり<sup>し</sup>三毛の<sup>角</sup>はぬと<sup>し</sup>ぬ



法一ひりりよ一十二五と垂てこれに右の  
六寸をまう時よみまこれあくとちるを  
一又五寸五分三リも田方あり角をまうを  
る一てろふちよるあくとちるを

○六寸のまる木よからとら

法ひりりよ一一二五と垂てこれに右の五寸五分  
三リ三毛よかく六寸五分をちるを

一六寸角の二角木付四角をうごまうのとちよ  
平地のそく二尺よありさ八寸めふと三角木  
れを六寸角二角木の物とよとら

ろふれよあつらとち

○平地代敷塔のち七らわりのあつらとち  
法よひり拍あつさ八寸五分よと二尺かく  
一七とぬかよと三角をうごまうのとち  
是よ四角をうごまうのとち二尺かくと  
右よへちりまひりり六寸をちるを  
ろふれ三六とから是よ二角をうごまうのとち  
これに右の二尺二寸五分のちるを  
お拾九を七らわりのちるを

一ひりり代敷塔の時一ちるをうごまうのとち

まうして一しめとひめと右と或向とくとも  
さしてきめてとる時よ一とく<sup>二付</sup>五寸のまうく  
あり時或尺とくはさくくも四尺五寸とくも  
うんさくもてあめと回すよ

○四尺五寸とくも或百四拾七米ぬとく  
はよ五尺とまうきは三一とめてあつとく  
一尺五寸の分ニリ二色とぬれを右右よと  
くれと一寸四方の坪敷二百の屋下三分とリ  
の色六系八忽四とるり是よ二百とくくは時よ  
五百下下六拾七坪の分三三六毛八系とるりと

尺とくり別小垂也○又四尺五寸と三一六て  
わいの一尺四寸二分四リと成らぬと左右よ垂<sup>たき</sup>  
くこれと或向下一坪七分七毛六系とるり  
是よ右と五万下下六十七坪つとくり六八と  
わいえ二百四拾六米五分と成らると一とくよ  
一七七とくりあぬ

一四のまう四尺五寸のまめ或ら米とく山と或尺  
うさ乃志あまうりてるんさくよぬとく  
○五尺とくよ百六拾二とくよぬとく  
はよ四尺五寸と回き法三一六めてわい時り

一尺四寸二ふ四リと成是を左右よ垂るる時  
或百下二坪七ふ七リ七毛六糸とるるあまふ又  
二百とくくれを四万五百万五坪五分二リを  
右よへちよ垂る○又五尺の坪をくくくし  
或百五拾下之分三五六八四是て右のをよれ下  
百六十二也くちるる

一五尺とるこのうち一寸あそくの時をく引よして  
○四分一リ一毛あそくころり  
一五尺とるこれ内二寸あそくの時をく引よして  
○五分四リ九とあそくころり

一五尺とるこのうち一寸あそくの時をく引よして  
○一わり五分一リ六毛あそくころり  
一五尺とるこの内四寸あそくの時をく引よして  
○一わり五分一リ六毛あそくころり  
一五尺とるこの内五寸あそくの時をく引よして  
○二わり三分四リ九とあそくころり  
はよ五尺とるこのうち五寸あそくの時をく引よして  
まのきは三一六にしてよれ一尺五寸八分二リ  
二毛とる是を右よ垂るよ垂てくくく或百の拾下  
三分とるは六糸八忽四と成右よへちよ垂る

又四尺五寸とまるき法三一六とせわぬ一尺  
四寸二分四リとぬこれと左右よ垂てうづれを  
或る下二坪七分七リ七毛六糸とぬ是れを右  
とぬるまの坪内めあて四拾七坪五分四リ余を  
是と又或る下二坪七分七リ七毛六糸あてわぬ  
内ふ二わりと分四リ五毛とあるへし  
一竹一束とつゝをまわり一尺八寸あり右の内  
つす少くある内らんわのたぬを同計は  
一尺八寸あて一寸少くの時よ  
○一ツカニ分一リ少くは

一尺八寸あてのちす少くの時よ  
○二わりと分六毛あては  
一尺八寸あての内す少くの時よ  
○四より四分あては  
右一尺八寸あては一寸少くの時よらんわの  
あては  
一尺五寸あては  
○一わりと分四リ二毛あては  
二尺あては  
一尺八寸あては  
○二わりと分四リ五毛あては

あるひ一尺八寸を以て一尺とて二尺とす  
くいと寸一ニ尺とて一尺とすふり  
あつらふとす寸一

○或る字分六リぬ毛よあつらふり

はよニわりと分四リぬ毛よ十とす  
十二三四五とぬ毛よ二をうらぬ右とす  
まじりかち

又一尺八寸ふち寸たぬ寸を四わり四分  
十とす五分十四四とぬれは二  
毛分りりハ毛中とす



